

BORI KIYONORI EXHIBITION

時を挟り「和^ワ美^ビ」を味わう。

和^ワ美^ビとは、古来より日本人が愛してきた美意識に加えて、「和をもちて食しとなす」のように人々がむつまじく親しく接する和合の精神やそれら友愛的感性などから生まれる美しさ。



2023年12月6日(土) - 2024年1月14日(日)

開館時間 12時〜18時
休館日 水曜日、年末年始(12月27日〜1月4日)
会場 アーツトンネル GALLERY (ういかね Palette 1F)
観覧料 無料 主催：NPO法人アーツトンネル

金鉄を生きる

海と山に囲まれ、川が流れる豊かな土地。古来より日本人は、その豊かさの中で、奪い合うのではなく、分かち合うことで、命をつないできました。「和をもって貴しとなす」それは豊かな土地で生きてきたからこそ育まれてきた、日本人特有の心です。

この筑豊地域は、山に囲まれ、英彦山川や遠賀川が流れ、豊かな自然に溢れています。古来から多くの人々が様々な営みの中で、この土地に暮らしてきました。

その中で鉄は、農作や狩猟の道具として、その豊かさを支えてきました。しかし、その役割は時代と共に変化し、殺し合いの道具となり、また戦争抑止力のための兵器となっています。一方で、人は鉄を扱う能力を進化させ、その技術によって、建築や交通、エネルギー産業など近代化を成し遂げ、豊かさを手に入れていったことも事実です。

母里聖徳は北九州の鉄のアーティストとして、鉄だけでなく、街や歴史、そして世界と向き合い、作品制作やアートプロジェクトを行ってきました。

わが国の鉄工業を支えてきた北九州。この街の工場やスクラップヤードには、視点を変えると、まるで生きているのではないかと疑うほどに美しい鉄が存在しており、今回、母里はその鉄を新たに「見立て」ました。

「和美」とは古来より日本人が愛でてきた美意識であり、人々がむつまじく親しく接する和合の精神やそれら友愛的感性などから滲みでる美しさのことであると母里は言います。この展覧会では、鉄を通じて人の歴史や世界と向き合ってきた母里が、その時々の人々の営みに翻弄され、破棄されてきた鉄を生けることで、その「時」を抉ります。この土地から世界に向けて感じる事のできる「鉄」を味わっていただければと思っています。



2022年制作「鐵偶」
(宗左近生誕の地モニュメント、北九州市立戸畑図書館)



2023年制作「鐵偶」
(北九州市八幡東区、豊山八幡神社)



展覧会に関するお問い合わせは、
artstunnel@gmail.com または
LINE 公式アカウントまで



鉄を生ける

母里聖徳展

展覧会の詳細は WEB サイトをご覧ください▶



母里聖徳
Bori Kiyonori

- 1956年 福岡県遠賀郡水巻町生まれ
- 1986年 母里聖徳展(天画廊福岡)
- 1987年 国際鉄鋼彫刻シンポジウム -YAHATA-87
- 1990年 ミュージアムシティ天神
- 1993年 第2回国際鉄鋼彫刻シンポジウム北九州 '93「ザ・リサイクル」
- 1996~2006年 川俣正コールマイン田川プロジェクト(テクニカルディレクター)
- 2012年 ゴットンアートマジック
~アートでよみがえる、この国の火床~
- 2014年 大隈アートマジック 2014
- 2016年 かわすじへリテージ、古代史シンポジウム in 筑豊
- 2021年 福岡の桃山茶陶展(共催)
- 2022年 「鐵偶」モニュメント制作
(宗左近生誕の地モニュメント、北九州市立戸畑図書館)
- 2022年 「母里聖徳・鉄鋼彫刻の軌跡展 1986~2022」
- 2023年 豊山八幡神社「鉄のしめ縄・鐵偶」制作
(北九州市八幡東区)

アーティストトーク

2023年12月9日(土)

時間 14:00~16:00 入場無料

場所 いいかね Palette2F 教室

美術家二宮圭一氏による司会のもと、参加者が母里聖徳氏に対しての質問形式のアーティストトークを行います。

司会：二宮圭一(美術家)

ゲスト：安部泰輔(美術家) / 高木侑斗(アーツトンネル) / 母里聖徳(彫刻家)

オープニングパーティー

2023年12月9日(土)

時間 18:00~ 参加費 1,000円

場所 いいかね Palette2F 教室

作家を囲み交流の場となるようなオープニングパーティーを開催します。どなたでも参加できます。

当日は飲み物と軽食を準備しております。予約不要です。お気軽にお越しください。